

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成24年2月2日(2012.2.2)

【公開番号】特開2010-58507(P2010-58507A)

【公開日】平成22年3月18日(2010.3.18)

【年通号数】公開・登録公報2010-011

【出願番号】特願2009-201723(P2009-201723)

【国際特許分類】

B 41 J 2/175 (2006.01)

【F I】

B 41 J 3/04 102Z

【手続補正書】

【提出日】平成23年12月13日(2011.12.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

固体インクを溶融するように構成される溶融プレートと、

前記溶融プレートの温度を感知するように構成される温度センサと、

前記溶融プレート上に配置され、前記溶融プレートに対して前記温度センサを接続する
ように構成される取付台であって、マイカ層と、第1のポリイミド層と、第2のポリイミ
ド層とを含み、当該第1のポリイミド層が当該第2のポリイミド層に近接して配置される
取付台と、

を備える、固体インク溶融装置。

【請求項2】

請求項1に記載の固体インク溶融装置において、

前記マイカ層が前記溶融プレートに近接して配置され、前記第2のポリイミド層が前記
温度センサに近接して配置される固体インク溶融装置。

【請求項3】

請求項1に記載の固体インク溶融装置において、

感圧接着剤を使用して前記取付台を前記溶融プレートに接続する固体インク溶融装置。

【請求項4】

請求項1に記載の固体インク溶融装置において、

さらに、前記第1のポリイミド層を前記第2のポリイミド層に接続する感圧接着剤を含
む、固体インク溶融装置。

【請求項5】

請求項1に記載の固体インク溶融装置において、

さらに、前記溶融プレートに熱を与えるように構成されるヒータと、

前記温度センサに接続され、該温度センサによって感知される温度に基づいて、前記ヒ
ータに供給される電力を調節するように構成されるコントローラと、

を備える固体インク溶融装置。

【請求項6】

請求項1に記載の固体インク溶融装置において、

前記温度センサがサーミスタを含む固体インク溶融装置。

【請求項7】

請求項 1 に記載の固体インク溶融装置において、
前記温度センサが前記溶融プレートの表面から取り外され、スプリングアームを介して
前記取付台に接続されている固体インク溶融装置。

【請求項 8】

固体インクプリンタにおいて、温度センサを溶融プレートに取り付ける方法であって、
マイカ層と、第1のポリイミド層と、第2のポリイミド層とを含む可撓性の取付部材で
あって、前記第1のポリイミド層が前記第2のポリイミド層に近接して配置される取付部
材を準備し、

前記取付部材の前記マイカ層を、前記溶融プレートに接続し、
前記温度センサを前記第2のポリイミド層に接続する方法。

【請求項 9】

装置基板と、

前記装置基板上に設けられた加熱部材と、

前記加熱部材の少なくとも一部に設けられたマイカ層と、

前記マイカ層の少なくとも一部に接続された第1のポリイミド層と、

前記第1のポリイミド層に接続された第2のポリイミド層と、

前記第2のポリイミド層に接続された温度センサと、

を含む加熱装置。

【請求項 10】

請求項 9 に記載の加熱装置において、

さらに、前記第1のポリイミド層と前記第2のポリイミド層とを含む複数のポリイミド
層を備え、該第1のポリイミド層が前記マイカ層と前記第2のポリイミド層との間に配置
されている加熱装置。